



いずくら雄太県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

広域的な観光ルート創出

6月定例県議会一般質問

市町村連携し魅力アップ



登壇し、県執行部に質問する伊豆倉雄太県議

若さとラグビーで培った行動力で住みよい千葉県づくりにまい進している伊豆倉雄太県議(市原市選出、1期)は、6月定例県議会で登壇し、一般質問を行いました。県内の豊富な観光資源の活用を訴えている伊豆倉県議ですが、今議会では複数の観光地を結んだ広域観光を取り上げ、ルートの創出とPRについて県執行部に質問しました。また、小中学校の統廃合で廃校になった校舎について、地元の要望に沿った形で有効利用を求めました。

伊豆倉議員 国内外旅行者の県内観光についてうかがう。県は、広域的な観光ルートの創出及びそのPRについて、どのように取り組んでいるのか。
知事 複数の観光地を巡る広域的なルートの創出は、多様な魅力を生み出し、観

光客の滞在時間の長期化によって宿泊機会が増すなど、非常に意義のあるものと考えております。
このため、県では、宿泊滞在につながる新たな観光ルートの開発に、複数市町村で取り組む場合には、助成限度額を上げるほか、外

国人に向けて、30の周遊ルートを紹介したガイドブックを作成するなど、広域的な観光ルート創出に取り組んでいきます。
さらに、今年度は、新たに観光ルートを巡るバスツアーに対する助成を行うなど、引き続き、広域的な観光ルート創出に取り組むとともに、国内外の旅行博や観光商談会等において積極的にPRしてまいります。

伊豆倉議員 県は、市町村との広域連携推進の旗振り役として、市町村をどのように支援していくのか。
知事 観光地の魅力アップを図り、観光客の誘致を進める上で、地域・市町村間の連携は大変重要です。例えば、県内では市原市など4市6町が中房総観光推進ネットワーク協議会を設立し、観光振興に取り組んでいます。

また、県では市町村や観光事業者など多様な主体が参加する「ちばプロモーション協議会」を設置し、市町村の枠を超えた観光資源の組み合わせによる新たな魅力の創出に取り組むなど、広域連携を図りながら、オール千葉県での観光プロモーションを展開しています。

県としては、今後とも、本協議会により、広域連携

県民に分からやすく 従来通り「保健所」に

伊豆倉議員 健康福祉センターについてうかがう。健康福祉センターの機能の中に保健所があると認識している県民はまだ少ないと思うがどうか。
健康福祉部長 平成16年に設置した健康福祉センターは、保健所と福祉事務所の両方の機能を併せ持ち、窓口を一本化して県民サービスの向上を図るとともに、これまで、市町村、医療機関等と連携しながら、保健・医療・福祉に関する行政サービスを県民に提供しているところだ。

県では、こうした役割が県民に理解されるよう、日頃からホームページ等において、「健康福祉センター」と「保健所」の名称を併記するとともに、健康福祉センターにおける県民との電話応対の際には両方の名称を名乗るようにしています。

健康福祉センターの名称を併記することは、理解できるし、賛成である。
健康福祉センターの名称はまだまだ浸透していないのが現状だと思う。特に成田空港を有している千葉県は感染症対策にはスピード感を持って行わなければならない立地である。
いくらアナウンスしても、興味のない方には届きにくく、何かが起きてからでは遅いと思う。今まで多くの議員が指摘してきたように、名称を今までどおり分かりやすく保健所として頂けることを要望する。

を効果的かつ円滑に進めるほか、市町村の連携による取組を積極的に支援してまいります。
伊豆倉議員 県が有する観光のノウハウを、やる気のある市町村へ伝えていただきたい。

●お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください

いずくら雄太 県議事務所

〒290-0081 市原市五井中央西2-11-5
TEL. 0436-37-1777
FAX. 0436-37-1331

いずくら雄太・PROFILE

略歴

- 昭和58年生まれ
- 平成11年 市原市立加茂中学校卒業(野球部在籍・キャプテン)
- 平成14年 私立志学館高等部卒業(ラグビー部在籍・キャプテン)
- 平成18年 東洋大学法学部卒業
- 平成27年 県議会議員初当選

所属団体

- 市原市消防団
- 一般社団法人市原青年会議所

地元の要望に沿い 廃校の有効利用を



自席で県の施策に要望を行う伊豆倉雄太県議

伊豆倉議員 市街化調整区域にあり、既に廃校されて有効活用する計画のない学校は、平成28年度に公表された国の調査によると県内に松戸市の根木内東小、成田市の久住第二小、白井市の白井第二小平塚分校の3校があり、その他に市街化調整区域にない学校は県内に21か所ある。

学校は地域の財産でもあり、シンボルのような建物。もし、自分の母校が廃校になったとき、少しでも地域のために施設に生まれ変わって欲しいと誰もが思うのではないかと。

しかしながら、市街化調整区域内にある閉校施設において、都市計画法の規則により、地元の要望に沿うような有効活用が図られない状況にある。

そこでどうかだが、廃校になった学校を、県も市町村と十分に協議し、地元の要望に沿うように有効活用できないものか。

廃校となり未活用となっている学校を活用する際には、都市計画法で定められた用途に適合する必要がある。具体的には、農産物直売所や社会福祉施設などでの活用が考えられます。

市街化調整区域内にある廃校の活用については、今後、

廃校への企業誘致サポート

伊豆倉議員 廃校の活用

法に悩む自治体が、一つの方策として企業誘致への活用を検討する際、県としてどのようなサポートができるのか。

商工労働部長 廃校などの空き公共施設を活用した

地元市町村から具体的な相談があれば地域の状況に応じた適切な助言等を行ってまいります。

伊豆倉議員 地元の要望をしっかりと聞いていただき、地元の要望に沿うようにしていきたい。

企業誘致は、人口減少が進む地域の経済活性化に、非常に有効な方策であると考えております。

現在、18の市町と連携して取り組んでおりますが、今後は、より多くの市町村とも連携が図られるよう努

めてまいりたいと思います。県としては、企業誘致活動で把握したニーズ等の情

高滝ダム堆砂対策で試験 下流河川へ土砂還元

報提供や、廃校への企業誘致に成功した事例のPR等を積極的に、廃校の活用方法に悩む市町村に対し、企業誘致という活用方策へ

の検討について、サポートしてまいります。そのうえで、市町村が実際に廃校を企業誘致に活用することとなった場合には、

進出を希望する企業のニーズも踏まえながら、市町村への引き合わせを行うことにより、企業立地の促進を図ってまいります。

水時に流下させる試験を行い、下流河道への影響を把握するためのモニタリング調査を実施しているところ

伊豆倉議員 高滝ダムについてどうか。現在年間除去される堆砂は1万立方メートル程度だが、もっと効率の良い方法はないのか。

土砂を下流へ流すことも有効な方策と考えるがどうか。

下流河川への土砂還元は、総合的な土砂管理の観点からも、有効な堆砂対策と考えており、当該試験結果を踏まえ、河川環境への影響等にも配慮しながら、本格的な実施を目指してまいります。

ダム上流での対策必要

伊豆倉議員 流入堆砂への対応はどのように考えているのか。

土砂を貯留するための貯砂ダム2基を設置し、捕捉された土砂を定期的に除去する

伊豆倉議員 高滝ダムでは、流入する河川の河岸浸食などにより当初想定していた以上に堆砂が進行しており、ダム上流域での堆砂対策が必要と考えております。

今後、流入堆砂量の更なる抑制のため、貯砂ダムなどの施設改良等既存ストックの有効活用を含め、効果的な土砂流入防止対策を検討してまいります。

今後、流入堆砂量の更なる抑制のため、貯砂ダムなどの施設改良等既存ストックの有効活用を含め、効果的な土砂流入防止対策を検討してまいります。

適宜、指導監督を

グレーゾーン多い雑品ヤード

伊豆倉議員 雑品ヤード対策についてどうか。県

として、雑品ヤードの実態は把握できているのか。

環境生活部長 雑品ヤードでは、使用済電気電子機器がその他の金属スクラップと混合された、いわゆる雑品スクラップが扱われています。

県では、廃棄物として雑品スクラップを処理するヤードについては、廃棄物処理法に基づく立入検査等で状況を把握しています。

ことから、雑品ヤード全体の把握は難しい状況にあります。伊豆倉議員 国の動きを対応していくのか。

環境生活部長 国は、先の国会で廃棄物処理法を改正し、これまで同法の規制が及ばなかった雑品スクラップ

を取り扱う事業者に対し、県への届出や処理基準の遵守などを義務付けることとしました。

今後、政省令で規制の対象となる雑品スクラップや事業者の範囲、保管基準や処分基準などが、具体的に定められることとなります。

伊豆倉議員 政省令が出てこなければわからないことも多くあると思う。しかし、法令ではカバーしきれないヤードの規模であったり、品目であったりと思う。

ただでさえ、雑品スクラップに関してはグレーゾーンの多い千葉県としても、法律でカバーしきれないもの念頭に指導・監督していただくことを強く要望する。